

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大砂土東小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)学習を自分事と捉え、自分の考えをもつことができる資質・能力 →主権者意識の醸成 (2)自ら問いを立て、様々な他者と協働しながら問題を解決する資質・能力 →情報編集力の育成
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)・学習内容を生活場面で結び付ける。考えや取組のよさについて価値付ける。【単元・教材で1回以上】・根拠(資料、既習等)を基に、課題について自分の考えをまとめる活動を行う。その際、個別に支援したり自己のペースで取り組んだりできる時間を設定する。【単元・教材で2回以上】 (2)・必要感や困り感、知的好奇心をもてる授業展開を工夫する。(発問等も含む)【単元・教材で2回以上】・単元・教材全体を見通し、協働的な学びを計画的に位置付け、新しい学びを得られるような展開にする。その際、教師は「なぜ」「つまり」「大事だと思うところ」等の問いかけを使って児童の考えを深める。【単元・教材の中で1回以上】

策の設定

ざらざら(楕円)

⑤	年度末評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
今年度の成果と 次年度の課題	

児童生徒の
学力の向上



②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
結果から考えられる 児童生徒の実態	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

B>(1月)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
↓	
結果から考えられる 児童生徒の実態	

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※)
↓	
学力向上策の 見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

③中間評価を経ての取組
④調査結果を活用した授業

教育研究所